

社会資本総合整備計画（第5回変更）  
コンパクト便利ですてきなまちづくり

令和3年1月28日

三重県桑名市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(市街地整備)

令和3年1月28日

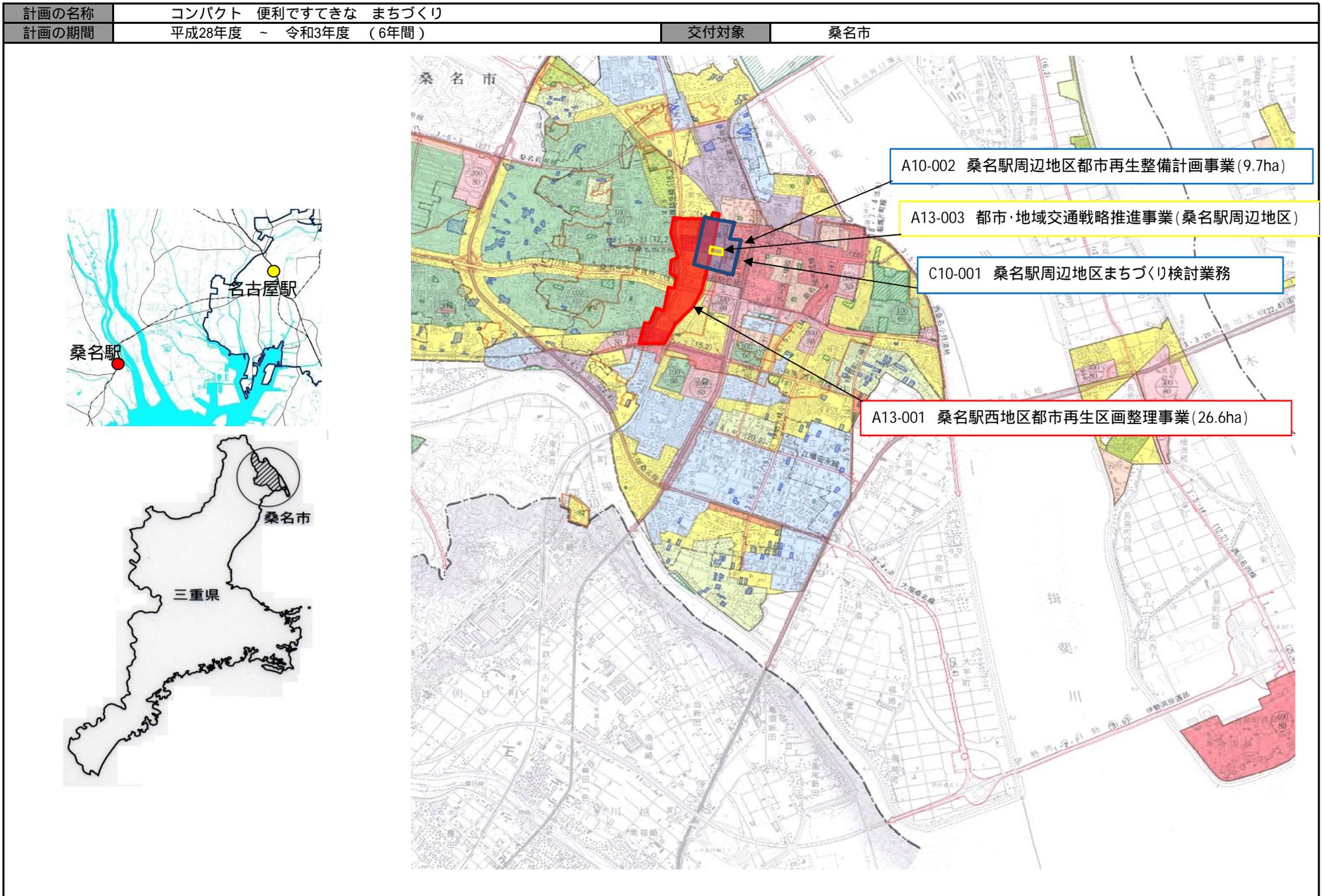
計画の名称	1 コンパクト 便利ですてきな まちづくり							重点計画の該当										
計画の期間	平成28年度 - 令和3年度 (6年間)							交付対象	桑名市									
計画の目標	鉄道によって分断された桑名駅周辺において、桑名駅自由通路整備及び東西駅前広場整備と併せて各桑名駅を橋上駅舎化し、桑名駅の交通結節点としての機能強化を図り、利便性を確保した快適な暮らしを育み定住人口の確保を図る。																	
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>桑名駅西都市再生土地区画整理事業区域内の宅地整備率を10%から25%に(15%)増加</li> <li>桑名駅東駅前広場の利用満足度を20%から23.7%に(3.7%)増加</li> <li>桑名駅の1日当り乗降者数を38,854人(H27実績)から40,000人(H33)に3%増加させる。</li> </ul>																	
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値( H28当初)    中間目標値( H30末)    最終目標値( R3末)										
桑名駅西都市再生土地区画整理事業区域内における整備済み宅地率(%)	10%		25%															
桑名駅東駅前広場の利用満足度(%)	20%		24%															
桑名駅乗降客数(人/日)の実績数値	38,854人/日		40,000人/日															
全体事業費	合計(A+B+C+D)	5687.4百万円	A	5680.4百万円	B	0.0百万円	C	7.0百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.1%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	R2	R3				
A13-001	都再区画	一般	桑名市	直接	桑名市	桑名駅西地区都市再生土地区画整理事業	土地区画整理事業 約26.6ha	桑名市							1600.0			
A10-002	都市再生	一般	桑名市	直接	桑名市	桑名駅周辺地区都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設等 約9.7ha	桑名市							1006.8			
A13-003	都市交通	一般	桑名市	間接	東海旅客鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社	都市・地域交通戦略推進事業(桑名駅周辺地区)	JR桑名駅橋上駅舎整備、近鉄桑名駅橋上駅舎整備(養老鉄道含む)	桑名市							3073.6	1.08		
合計												5680.4						
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	R2	R3				
合計																		
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	R2	R3				
C10-001	調査	一般	桑名市	直接	桑名市	桑名駅周辺まちづくり検討業務	まちづくり検討	桑名市							7.0			
合計												7.0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C10-001	基幹事業等を社会情勢の変化等に対応するために、桑名駅周辺地区まちづくり検討会議を開催し、必要があれば事業内容の見直しの検討を行う。																	
C10-002	基幹事業等を最終年において事業効果を検証し、事後評価を行う。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	R2	R3				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

交付金の執行状況（平成30年3月末現在）

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
配分額 (a)	182.2	156.3	126.5	1,325.2	241.6	
計画別流用 増減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	182.2	156.3	126.5	1,325.2	241.6	
前年度からの繰越額 (d)	163.9	68.7	8.3	81.7	893.5	
支払済額 (e)	277.4	216.7	53.1	513.4	982.4	
翌年度繰越額 (f)	68.7	8.3	81.7	893.5	152.7	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	58.4	893.5	136.9	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	43.3%	63.5%	12.1%	
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	用地補償の 遅延難航	複合施設整 備事業との 調整による 遅延	用地境界の調 整による遅延	

(参考様式3) 参考図面(社会資本整備総合交付金)



## 事前評価チェックシート

計画の名称： コンパクト 便利ですてきな まちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

